

# アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

# 10

2006

## 第133号

特集●

ラテンアメリカ現代政治を読む

分析レポート●

日系進出企業とヨーロッパ系進出企業の技術移転と国際分業の違い



## CONTENTS

1 巻頭エッセイ 左派政権はラテンアメリカを変えるか

小池洋一

## 特集 ラテンアメリカ現代政治を読む—左派政権? 反米? 反ネオリベラル?

2 ●特集にあたって

宇佐見耕一

4 ●ベネズエラ・チャベス政権—南米における反米左派の巨頭

坂口安紀

8 ●アルゼンチン・キルチネル政権の「反ネオ・リベラル」経済・社会政策

宇佐見耕一

12 ●メキシコ・二〇〇六年選挙と政党政治の行方

岸川 毅

16 ●チリ・バチェレ政権の課題と展望

安井 伸

20 ●ブラジル・ルーラ政権の挑戦—貧困解消とマクロ経済の安定

子安昭子

24 ●ペルー・大統領選挙をめぐる開発の行方—「国家への回帰」

遅野井茂雄

28 トレンド・レポート **東ティモール情勢—暴動とアルカティリ首相辞任劇  
通常兵器の移転に関する一九九〇年代以降の規制**

水野久美子

榎本珠良

36 分析レポート **日系進出企業とヨーロッパ系進出企業の技術移転と国際分業の違い**

水野順子

44 フォト・エッセイ **インドネシア・ジャワ中部地震の被災地から**

今岡昌子

48 カルチャー・ショック

外国人のみた日本 日本は本当に「格差拡大社会」なのか?

丁 可

日本人のみた外国 恐妻家大国

岩崎葉子

50 ブックシェルフ

新刊紹介／上田広美・岡田知子編『カンボジアを知るための60章』

初鹿野直美

レファレンスコーナー／世界の水資源事情(3)

佐々木茂子

52 アジア各国・地域 経済統計

図書館資料サービス課

56 研究所だより

◆表紙写真：食べ物を売る女性。ポリビア、ラパス（写真提供：セブンフォト）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

# 平成 18 年度 日本貿易振興機構アジア経済研究所 職員募集要項

**職種・応募資格** 調査研究：大学院修士課程修了以上の学歴を有する者（平成 19 年 3 月修了見込みの者を含む）で、以下の分野の業務に従事できる者。国籍不問。  
① 地域研究（東南アジア諸国：政治）② 地域研究（東南アジア諸国：経済）  
③ 開発研究

**募集人員** 若干名

**応募手続**

- 提出書類等
  - 履歴書（写真貼付。研究所指定様式をウェブサイトよりダウンロードして使用すること。ダウンロード不可の場合は、下記問い合わせ先まで連絡のこと。「本人希望記入欄」に希望分野（①～③）を明記のこと）
  - 学業成績証明書（学部以上すべての証明書。コピー不可）
  - 卒業・修了（見込み）証明書（学部以上すべての証明書。コピー不可）
  - 志望動機作文（A4 版用紙 1 枚ワープロ打）
  - 返信用封筒（長形 3 号。80 円切手貼付の上、住所、氏名を明記）
  - 業績リスト及び主な論文（著書、論文がある場合）
- 応募方法  
下記提出先へ郵送のこと。提出の際には封筒の表に「応募書類在中」と朱書のこと。  
なお、応募書類は返却致しません。
- 応募期間  
**平成 18 年 9 月 11 日（月）から 10 月 30 日（月）まで<応募書類必着>**

**選 考**

- 応募締め切り後、書類選考を行い、合格者には別途連絡のうえ、下記の予定で筆記試験を実施。  
**日 時 平成 18 年 11 月 14 日（火）13 時 30 分開始**  
**場 所 当研究所**  
**試験科目 ①政治もしくは経済（選択式） ②小論文 ③英語**  
※英語による解答可（但し、③の英語は除く。試験問題は日本語）。また、海外在住者および外国人については、筆記試験の代わりに論文（英語もしくは日本語）提出による選考を受けることも可。希望する場合は、履歴書の「本人希望記入欄」にその旨を明記し、応募する際に必ず論文を同封すること。その際、海外在住者は 11 月時点で海外在住が証明できるものもあわせて添付すること。
- 筆記試験合格者に対して、後日、面接試験を実施。

**勤務開始** 平成 19 年 4 月 1 日

**待 遇** 本機構の規定による。

**応募書類の提出先** 〒 261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2  
日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究企画部研究人材課 職員採用係

**問い合わせ先** 問い合わせは下記メールアドレスまで。内容に関する事項については一切お答えできません。  
メールアドレス：[jinzai@ide.go.jp](mailto:jinzai@ide.go.jp) ウェブサイト：<http://www.ide.go.jp>

**個人情報の取扱について**  
募集に際して提出していただいた書類は、独立行政法人日本貿易振興機構個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査以外の用途に使用することはありません。またこれらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与を行うことは一切ありません。

# —研究所だより—



## ▼出版物のご案内

### ●研究双書

\* No.552 藤田麻衣編『移行期ベトナムの産業変容—地場企業主導による発展の諸相』三、一五〇円(税込)  
 ※研究双書のデザインが、No.552から新しくなりました。

●『アフリカレポート』No.43 七三〇円(税込)

●『アジア動向年報 2006』六、六一五円(税込)

### ●情勢分析レポート

\* No.2 福田安志編『アメリカ・ブッシュ政権と揺れる中東』一、五七五円(税込)

\* 問合せ・申込先は研究支援部成果普及課(販売担当直通)

TEL: 043-299-9735

FAX: 043-299-9736

\* 研究所出版物は図書館1階のブック

ストアでもお求めになれます。どうぞご利用下さい。

(営業日時: 月・水・金及び第1・第3土曜日 10:00~17:00 図書館休館日は休業)

▼IDEAS第一六期外国人研修生(平成一八年九月下旬~平成一九年三月中旬)一四名が決定しました。研修生の氏名は以下のとおりです。

- Mr. Md. Abu Sayed (バングラデシュ)
- Mr. Wangdi Dugyal (ブータン)
- Mr. Tang Ke (中国)
- Ms. Sri Haranti (インドネシア)
- Mr. Vallya Scharnthongtip (タイ)
- Mr. Baikuyag Mergoe (モンゴル)
- Ms. Thanda Kime (ミャンマー)
- Ms. Aabha Shrestha (ネパール)
- Mr. Munbur-Rahman (バキスタン)
- Mr. Jonar Bade Mela (フィリピン)
- Mr. Yadehi Yasaritha Kayana De Silva (スリランカ)
- Ms. Monrawee Suthipong (タイ)
- Mr. Ekin Mukhtinov (ウズベキスタン)
- Ms. Tran Thi Thu Hang (ベトナム)

### ▼最近の主な海外来訪者

- \* 韓国 II Dr. Hyun Oh Seok (玄才錫 韓国貿易協会貿易研究所 KITA 所長) II 他3名 II 8月3日
- \* 韓国 II Dr. Ro Sung Taë (盧成泰 韓国経済研究院院長) 他1名 II 8月25日

▼次号の特集は「メコン地域開発」です。

## アジ研図書館から新たな情報発信

### 発展途上地域地図目録—アジア経済研究所所蔵—

<http://opac.ide.go.jp/map/>

これまで収集してきた開発途上地域の各国、各地域の地形図など約5万枚について、州、省、県などの詳細単位で地図索引図を見ながら地図の所蔵状況が確認できます。



### 日本貿易振興機構アジア経済研究所学術研究リポジトリ

Academic Research Repository at the Institute of Developing Economies

(ARRIDE) <http://ir.ide.go.jp/dspace>

アジ研研究者の調査研究成果を発信します。

「アジア経済」、「The Developing Economies」などの雑誌論文、研究双書など単行書で発表した論文、新しいアイデアや知見を世界に向けて早く発信する Discussion Papers などのアジ研出版物のほかに、外部出版された論文などを地域別、分野別にご覧になれます。

## 『アジア経済』 第47巻第10号

10月16日発売 1,050円(税込)

発展途上地域に関する理論機関誌  
論文、研究ノート、学界展望、書評、紹介等掲載

\*ご購入・お問い合わせは、成果普及課まで  
(電話:043-299-9735 FAX:043-299-9736)

## 『アジ研ワールド・トレンド』 第12巻第10号 通巻133号

2006年10月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所  
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2  
TEL 043 (299) 9735 FAX 043 (299) 9736

<http://www.ide.go.jp>

印刷

広研印刷株式会社



—アジアきりえ紀行—

アンコール・トム

カンボジア

関西空港より、ベトナムの首都ホーチミンからそのまま、シムリアップまで空路1時間、あこがれのアンコール・ワットに足をおろしました。アンコール・ワットは想像以上にスケールが大きいものでした。また、アンコール・トムの南城門は、別名勝利の門といわれています。この城門の高さは、23メートルあり、4面の仏顔は観世音菩薩でした。魅力あふれるもので、大いにスケッチを楽しみました。

クメールの文化に圧倒されるとともに、この遺跡が密林の奥深く埋もれていたのも驚きでした。

(きりえ/解説・日本きりえ協会常任委員 坂部信子)